～学校から保護者の皆様へ～

北立誠小学校　学校だより

学校教育目標「やる気いっぱい　やさしさいっぱい　夢いっぱい」

津市立北立誠小学校

第９号

２０１８年6月２２日

登下校中や外出時に地震が起こったら

「今こそ，家族の話題に」

６月１８日午前７時５８分。大阪府北部を震源とする地震が発生し，高槻市の児童が倒れたブロック塀に巻き込まれ死亡するという痛ましい事故が起こりました。

本校では，午前７時４５分に児童玄関を開放した直後でした。地震の直前に緊急地震速報が鳴り，既に登校していた児童は自らその場で安全な姿勢をとりました。揺れがおさまり，次々に登校してくる児童を出勤していた職員が集合させ，ヘルメットを着用したまま，安全が確認できるまで待機させました。不安そうに「津波は来るの」と尋ねる児童もみられ，津波の心配がないことを繰り返し伝えました。ほとんどの児童は，冷静に落ち着いた行動がとれました。

欠席連絡がなく登校していない児童の家庭に連絡をとるなどして，１限目の授業開始までに全児童の安全が確認できました。朝の北立誠タイムまではヘルメットを着用し，１限目からは近くにヘルメットを置いて，通常の授業を実施しました。

今回の地震を受け，本校では，今日までに次の対応を行いました。

・登下校中や外出時に地震に遭遇した時の身の守り方の指導。
　「落ちてこない　倒れてこない　移動してこない場所に」
・学校敷地内にあるブロック塀の点検の実施。
・職員による通学路の安全点検の実施。

日頃から家庭・学校での防災教育や避難訓練・引き渡し訓練等を実施していたこともあり，児童は「自分の命は自分で守る」行動がとれました。

『地震の建築物被害に詳しい大分大の黒木正幸教授（建築構造学）は、住宅の耐震基準と比べると（ブロック塀）の認知度は低く、通学路といった人が行き交う道沿いにも、建築基準法に合致しない塀が多くあると指摘。「塀の所有者自身が危険だと考えないケースがかなり多い。」と懸念する。』（６月１９日付け伊勢新聞より）

この機会に改めて，次のような状況で，地震が起こったら，どう行動するか，ぜひ親子で話題にしていただきたいと思います。

・登下校中に起こったら
　　川の近くで　　踏切で　　橋の上で
　　ブロック塀や自動販売機の近くで
・自宅に居る時に起こったら
　　台所で　　寝室で　　風呂場で
・外出中に起こったら
　　スーパー・コンビニで　　バスの中で
　　海水浴場で

各学級で，「防災ノート」（三重県教育委員会）を活用して，学校外にいる時に地震が発生したことを想定した学習します。

学習後は，家庭に持ち帰りますので，ご家庭でぜひ話題にしてください。「防災ノート」は３年間使用し，学校で保管します。

屋上への避難訓練（６月１６日）